

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-152895

(43)Date of publication of application : 23.05.2003

(51)Int.Cl.

H04M 11/00  
H04M 1/272  
H04M 1/275  
H04M 3/42  
H04M 3/493  
H04Q 7/38

(21)Application number : 2001-353798

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 19.11.2001

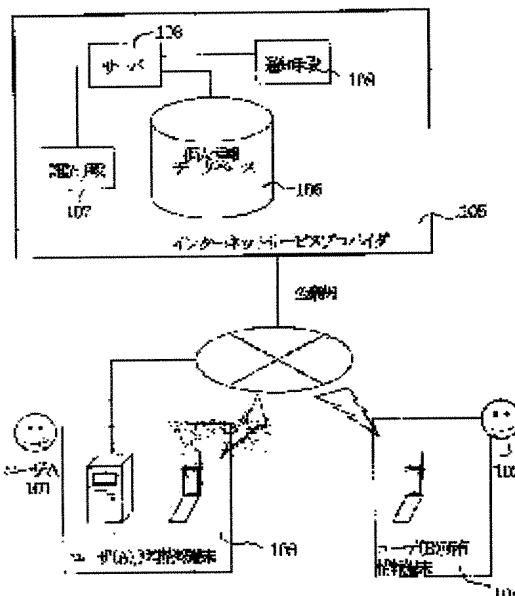
(72)Inventor : SAITO MAKIKO

## (54) PERSONAL INFORMATION OPENING SYSTEM AND INFORMATION OPENING METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a personal information opening system that can securely inform a desirable opposite party about personal information.

SOLUTION: The personal information opening system is provided with a first user mobile phone or a phone 103 from which personal information is open to public; a second user mobile phone 104 that receives personal information of the first user and has a function of informing the opposite party about its telephone number, a database 106 that includes at least the telephone number of the first user mobile phone or the phone 103, a telephone number of the second user mobile phone 104 and the personal information 204 which the first user desires to open, an authentication means 107 that authenticates whether or not an access of the second user is legal when the second user accesses the personal information opening system to acquire the personal information of the first user; and an opening information notice means 109 that informs the mobile phone 104 of the second user about the personal information 204.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 15.10.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 21.02.2006

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision  
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2003-152895  
(P2003-152895A)

(43) 公開日 平成15年5月23日 (2003. 5. 23)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード*(参考)
H 0 4 M 11/00	3 0 2	H 0 4 M 11/00	5 K 0 1 5
1/272		1/272	5 K 0 2 4
1/275		1/275	5 K 0 3 6
3/42		3/42	R 5 K 0 6 7
			T 5 K 1 0 1

審査請求 有 請求項の数19 O L (全 14 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2001-353798(P2001-353798)

(22) 出願日 平成13年11月19日 (2001. 11. 19)

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社  
東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 齋藤 真希子

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

(74) 代理人 100070530

弁理士 畑 泰之

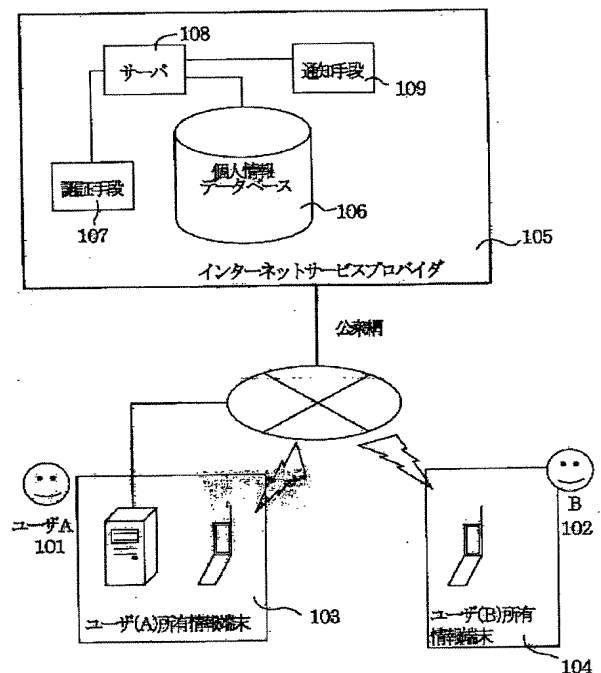
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 個人情報公開システムと情報の公開方法

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 個人情報を安全に希望する相手方に通知することを可能にした個人情報公開システムを提供する。

【解決手段】 個人情報を公開する側の第1のユーザの携帯電話機又は電話機103と、第1のユーザの個人情報を受け取る側の第2のユーザの携帯電話機であって、当該携帯電話機の電話番号を相手側に通知する機能を有する第2のユーザの携帯電話機104と、第1のユーザの携帯電話機又は電話機103の電話番号と、第2のユーザの携帯電話機104の電話番号と、第1のユーザが公開したい個人情報204とを少なくとも含むデータベース106と、第2のユーザが第1のユーザの個人情報を取得するために、当該個人情報公開システムにアクセスした時、このアクセスが、正当なアクセスであるか否かを認証する認証手段107と、個人情報204を第2のユーザの携帯電話機104に通知する公開情報の通知手段109とを含むことを特徴とする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 個人情報公開システムであって、  
個人情報を公開する側の第 1 のユーザの携帯電話機又は  
電話機と、

前記第 1 のユーザの個人情報を受け取る側の第 2 のユー  
ザの携帯電話機であって、当該携帯電話機の電話番号を  
相手側に通知する機能を有する第 2 のユーザの携帯電話  
機と、

前記第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号  
と、前記第 2 のユーザの携帯電話機の電話番号と、前記  
第 1 のユーザが公開したい個人情報とを少なくとも含む  
データベースと、

前記第 2 のユーザが前記第 1 のユーザの個人情報を取得  
するために、当該個人情報公開システムにアクセスした  
時、このアクセスが、正当なアクセスであるか否かを認  
証する認証手段と、

前記データベース及び認証手段を制御するサーバと、  
前記アクセスが、許可された前記第 2 のユーザの携帯電  
話機からのものであることを前記認証手段が認証した  
時、前記個人情報を前記第 2 のユーザの携帯電話機に通  
知する公開情報の通知手段と、  
を少なくとも含むことを特徴とする個人情報公開システ  
ム。

【請求項 2】 前記第 2 のユーザの携帯電話機が、当該  
個人情報公開システムへアクセスする際、当該個人情報  
公開システムに接続するための電話番号に続いて、前記  
第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号を入力  
することで、当該個人情報公開システムを呼び出し、且  
つ、前記認証手段は、受信した前記第 1 のユーザの携帯  
電話機又は電話機の電話番号が前記データベースの第 1  
の位置に登録され、且つ、前記第 2 のユーザの携帯電  
話機の電話番号が前記データベースの第 2 の位置に登録さ  
れている時、当該個人情報公開システムへのアクセスが  
正当なアクセスであるとして認証することを特徴とする  
請求項 1 記載の個人情報公開システム。

【請求項 3】 前記データベースは、前記第 2 のユーザ  
の携帯電話機からのアクセスを許可するアクセス許可期  
間をデータとして備え、前記認証手段は、前記第 2 のユ  
ーザの携帯電話機からのアクセスが前記アクセス許可期  
間内のアクセスの場合のみ、正当なアクセスとして認証  
するように構成したことを特徴とする請求項 2 記載の個  
人情報公開システム。

【請求項 4】 前記データベースには、前記第 1 のユー  
ザが公開したい複数の個人情報と、前記第 1 のユーザの  
携帯電話機又は電話機の電話番号に対応して、前記複数  
の個人情報の内の公開したい個人情報を特定するための  
識別手段とを格納し、前記第 1 のユーザ毎に異なる個人  
情報を公開するように構成したことを特徴とする請求項  
1 乃至 3 の何れかに記載の個人情報公開システム。

【請求項 5】 前記公開される個人情報が、前記第 1 の

ユーザのメールアドレスであることを特徴とする請求項  
1 乃至 4 の何れかに記載の個人情報公開システム。

【請求項 6】 前記公開される個人情報は、音声による  
通知、ウェブサイトからの通知、電子メールによる通知  
の何れかの通知手段で通知されることを特徴とする請求  
項 1 乃至 5 の何れかに記載の個人情報公開システム。

【請求項 7】 前記個人情報公開システムのサーバは、  
受信した前記第 2 のユーザの携帯電話機の電話番号に基  
づき、自動的にメールアドレスを生成し、このメールア  
ドレスを用いて、前記第 2 のユーザの携帯電話機に前記  
個人情報を通知することを特徴とする請求項 1 乃至 5 の  
何れかに記載の個人情報公開システム。

【請求項 8】 個人情報公開システムであって、  
個人情報を公開する側の第 1 のユーザの携帯電話機又は  
電話機と、

前記第 1 のユーザの個人情報を受け取る側の第 2 のユー  
ザの携帯電話機であって、当該携帯電話機の電話番号を  
相手側に通知する機能を有する第 2 のユーザの携帯電話  
機と、

前記第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機のメモリ装置  
内に格納される前記第 1 のユーザの携帯電話機又は電話  
機の電話番号と、前記第 2 のユーザの携帯電話機の電話  
番号と、前記第 1 のユーザが公開したい個人情報とを少  
なくとも含む認証用データと、

前記第 2 のユーザが前記第 1 のユーザの個人情報を取得  
するために、前記第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機  
の前記認証用データをアクセスする際、当該アクセス  
が、正当なアクセスであるか否かを認証する認証手段  
と、

前記認証用データのアクセスが、許可された前記第 2 の  
ユーザの携帯電話機からのものであることを前記認証手  
段が認証した時、前記個人情報を前記第 2 のユーザの携  
帯電話機に通知する公開情報の通知手段と、  
を少なくとも含むことを特徴とする個人情報公開システ  
ム。

【請求項 9】 前記第 2 のユーザの携帯電話機が、前記  
第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機へアクセスする  
際、前記第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番  
号に続いて、前記第 2 のユーザの携帯電話機の電話番号  
を入力することで、前記第 1 のユーザの携帯電話機又は  
電話機を呼び出し、且つ、前記第 1 のユーザの携帯電話  
機又は電話機の認証手段は、受信した前記第 1 のユーザ  
の携帯電話機又は電話機の電話番号が前記認証用データ  
の第 1 の位置に登録され、且つ、前記第 2 のユーザの携  
帯電話機の電話番号が前記認証用データの第 2 の位置に  
登録されている時、前記アクセスが正当なアクセスであ  
るとして認証することを特徴とする請求項 8 記載の個人  
情報公開システム。

【請求項 10】 前記認証データは、前記第 2 のユーザ  
の携帯電話機からのアクセスを許可するアクセス許可期

間をデータとして備え、前記認証手段は、前記第2のユーザの携帯電話機からのアクセスが前記アクセス許可期間内のアクセスの場合のみ、正当なアクセスとして認証するように構成したことを特徴とする請求項9記載の個人情報公開システム。

【請求項11】 前記認証用データは、前記第1のユーザが公開したい複数の個人情報と、前記第1のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号に対応して、前記複数の個人情報の内の公開したい個人情報を特定するための識別手段とを含み、前記第1のユーザ毎に異なる個人情

報を公開するように構成したことを特徴とする請求項8乃至10の何れかに記載の個人情報公開システム。

【請求項12】 前記公開される個人情報が、前記第1のユーザのメールアドレスであることを特徴とする請求項8乃至11の何れかに記載の個人情報公開システム。

【請求項13】 個人情報を公開する側の第1のユーザの携帯電話機又は電話機と、前記第1のユーザの公開情報を受け取る側の第2のユーザの携帯電話機であって、当該携帯電話機の電話番号を相手側に通知する機能を有する第2のユーザの携帯電話機と、前記第1のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号と前記第2のユーザの携帯電話機の電話番号と前記第1のユーザが公開したい個人情報とを少なくとも含むデータベースとからなる個人情報公開システムの情報の公開方法であって、

前記第2のユーザの携帯電話機が、当該個人情報公開システムへアクセスした時、前記第2のユーザの携帯電話機から受信した前記第1のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号と前記第2のユーザの携帯電話機の電話番号と切り出す第1の工程と、

切り出された前記第1のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号が前記データベースの第1の位置に登録され、且つ、前記第2のユーザの携帯電話機の電話番号が前記データベースの第2の位置に登録されている時、当該個人情報公開システムへのアクセスが正当なアクセスであるとして認証する第2の工程と、

前記第2の工程で、当該個人情報公開システムへのアクセスが、許可された前記第2のユーザの携帯電話機からのものであることを認証した時、前記個人情報を前記第2のユーザの携帯電話機に通知する第3の工程と、を含むことを特徴とする情報の公開方法。

【請求項14】 前記データベースは、前記第2のユーザの携帯電話機からのアクセスを許可するアクセス許可期間をデータとして備え、前記第2の工程では、前記第2のユーザの携帯電話機からのアクセスが前記アクセス許可期間内のアクセスの場合のみ、正当なアクセスとして認証することを特徴とする請求項13記載の情報の公開方法。

【請求項15】 前記データベースには、前記第1のユーザが公開したい複数の個人情報と、前記第1のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号に対応して、前記複

数の個人情報の内の公開したい個人情報を特定するための識別手段とを格納し、前記第3の工程では、第1のユーザ毎に異なる個人情報を公開するように構成したことを特徴とする請求項13又は14記載の情報の公開方法。

【請求項16】 個人情報を公開する側の第1のユーザの携帯電話機又は電話機と、前記第1のユーザの個人情報を受け取る側の第2のユーザの携帯電話機であって、当該携帯電話機の電話番号を相手側に通知する機能を有する第2のユーザの携帯電話機と、前記第1のユーザの携帯電話機又は電話機のメモリ装置内に格納される前記第1のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号と前記第2のユーザの携帯電話機の電話番号と前記第1のユーザが公開したい個人情報とを少なくとも含む認証用データとからなる個人情報公開システムの情報の公開方法であって、

前記第2のユーザの携帯電話機が前記第1のユーザの携帯電話機又は電話機をアクセスした際、前記第2のユーザの携帯電話機から受信した前記第2のユーザの携帯電話機の電話番号と切り出す第1の工程と、

前記第2のユーザの携帯電話機の電話番号が前記認証用データ内に登録されている時、前記第2のユーザの携帯電話機からのアクセスが正当なアクセスであるとして認証する第2の工程と、

前記第2の工程で、前記アクセスが、正当なアクセスであることを認証した時、前記個人情報を前記第2のユーザの携帯電話機に通知する第3の工程と、を含むことを特徴とする情報の公開方法。

【請求項17】 前記認証データは、前記第2のユーザの携帯電話機からのアクセスを許可するアクセス許可期間をデータとして備え、前記第2の工程では、前記第2のユーザの携帯電話機からのアクセスが前記アクセス許可期間内のアクセスの場合のみ、正当なアクセスとして認証することを特徴とする請求項16記載の情報の公開方法。

【請求項18】 前記認証用データは、前記第1のユーザが公開したい複数の個人情報と、前記第1のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号に対応して、前記複数の個人情報の内の公開したい個人情報を特定するための識別手段とを含み、前記第3の工程では、第1のユーザ毎に異なる個人情報を公開するように構成したことを特徴とする請求項16又は17記載の情報の公開方法。

【請求項19】 前記公開される個人情報が、前記第1のユーザのメールアドレスであることを特徴とする請求項13乃至18の何れかに記載の情報の公開方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、個人情報公開システムと情報の公開方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、メールアドレスなどの個人情報の交換は、書類や口答で行われることがほとんどである。このため、情報を変更した場合は、変更した情報を相手に対して公開する必要がある。このとき、全ての情報を全ての人に再公開するのではなく、変更を所定の人にのみ公開したいという要求がある。このような場合、個人情報をデータベース化しておき、アクセス可能にするという方法がある。

【0003】しかしながら、このような従来の方法には、以下のような問題があった。

【0004】第一の欠点として、メールアドレスを入手する際には、人間同士の書類の交換や、一方の者が、他方の者にメールアドレスを教えて、そのアドレスにメールを送信してメールアドレスを互いに知る方法等がある。これらの方法では、メールアドレスを携帯電話などに入力するという作業が発生する。メールアドレスの入力は、アルファベット及び数値の組み合わせによるものもあり、文字種の変更があるごとに入力モードの切り替えを必要とする。特に、アルファベットの場合、数値のように一つのキーに一つのアルファベットが割り当てられているわけではないから、アルファベットの入力の際、何度もキーを操作しなければならず、非常に手間がかかり、間違えやすいという欠点もある。

【0005】第二の欠点として、携帯電話で個人情報にアクセスする方法では、パスワードを予め教えることで必要な情報にアクセス出来るようにするという方法が一般的であるが、パスワードを利用した場合、流出の恐れがあり、教えた本人以外の人物が個人情報にアクセスした場合、認証部分で不正なアクセスを識別することができないという欠点がある。

【0006】また、第三の欠点として、第二の欠点で述べたように、パスワードが流出してしまった場合、パスワードの変更をしない限り情報の流出を防ぐことができない。また、パスワードが流出し、不正アクセスが行われていたとしても、流出に気づきにくいという欠点もある。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】本発明の目的は、上記した従来技術の欠点を改良し、特に、個人情報を安全に希望する相手方に通知することを可能にした新規な個人情報公開システムと情報の公開方法を提供するものである。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は上記した目的を達成するため、基本的には、以下に記載されたような技術構成を採用するものである。

【0009】即ち、本発明に係わる個人情報公開システムの第1態様は、個人情報公開システムであって、個人情報を公開する側の第1のユーザの携帯電話機又は電話機と、前記第1のユーザの個人情報を受け取る側の第2

のユーザの携帯電話機であって、当該携帯電話機の電話番号を相手側に通知する機能を有する第2のユーザの携帯電話機と、前記第1のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号と、前記第2のユーザの携帯電話機の電話番号と、前記第1のユーザが公開したい個人情報とを少なくとも含むデータベースと、前記第2のユーザが前記第1のユーザの個人情報を取得するために、当該個人情報公開システムにアクセスした時、このアクセスが、正当なアクセスであるか否かを認証する認証手段と、前記データベース及び認証手段を制御するサーバと、前記アクセスが、許可された前記第2のユーザの携帯電話機からのものであることを前記認証手段が認証した時、前記個人情報を前記第2のユーザの携帯電話機に通知する公開情報の通知手段と、を少なくとも含むことを特徴とするものであり、又、第2態様は、前記第2のユーザの携帯電話機が、当該個人情報公開システムへアクセスする際、当該個人情報公開システムに接続するための電話番号に続いて、前記第1のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号を入力することで、当該個人情報公開システムを呼び出し、且つ、前記認証手段は、受信した前記第1のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号が前記データベースの第1の位置に登録され、且つ、前記第2のユーザの携帯電話機の電話番号が前記データベースの第2の位置に登録されている時、当該個人情報公開システムへのアクセスが正当なアクセスであるとして認証することを特徴とするものであり、又、第3態様は、前記データベースは、前記第2のユーザの携帯電話機からのアクセスを許可するアクセス許可期間をデータとして備え、前記認証手段は、前記第2のユーザの携帯電話機からのアクセスが前記アクセス許可期間内のアクセスの場合のみ、正当なアクセスとして認証するように構成したことを特徴とするものであり、又、第4態様は、前記データベースには、前記第1のユーザが公開したい複数の個人情報と、前記第1のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号に対応して、前記複数の個人情報の内の公開したい個人情報を特定するための識別手段とを格納し、前記第1のユーザ毎に異なる個人情報を公開するように構成したことを特徴とするものであり、又、第5態様は、前記公開される個人情報が、前記第1のユーザのメールアドレスであることを特徴とするものであり、又、第6態様は、前記公開される個人情報は、音声による通知、ウェブサイトからの通知、電子メールによる通知の何れかの通知手段で通知されることを特徴とするものであり、又、第7態様は、前記個人情報公開システムのサーバは、受信した前記第2のユーザの携帯電話機の電話番号に基づき、自動的にメールアドレスを生成し、このメールアドレスを用いて、前記第2のユーザの携帯電話機に前記個人情報を通知することを特徴とするものであり、又、第8態様は、個人情報公開システムであって、個人情報を公開する側の第1のユーザの携帯電話機又は

電話機と、前記第 1 のユーザの個人情報を受け取る側の第 2 のユーザの携帯電話機であって、当該携帯電話機の電話番号を相手側に通知する機能を有する第 2 のユーザの携帯電話機と、前記第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機のメモリ装置内に格納される前記第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号と、前記第 2 のユーザの携帯電話機の電話番号と、前記第 1 のユーザが公開したい個人情報とを少なくとも含む認証用データと、前記第 2 のユーザが前記第 1 のユーザの個人情報を取得するために、前記第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機の前記認証用データをアクセスする際、当該アクセスが、正当なアクセスであるか否かを認証する認証手段と、前記認証用データのアクセスが、許可された前記第 2 のユーザの携帯電話機からのものであることを前記認証手段が認証した時、前記個人情報を前記第 2 のユーザの携帯電話機に通知する公開情報の通知手段と、を少なくとも含むことを特徴とするものであり、又、第 9 態様は、前記第 2 のユーザの携帯電話機が、前記第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機へアクセスする際、前記第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号に続いて、前記第 2 のユーザの携帯電話機の電話番号を入力することで、前記第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機を呼び出し、且つ、前記第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機の認証手段は、受信した前記第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号が前記認証用データの第 1 の位置に登録され、且つ、前記第 2 のユーザの携帯電話機の電話番号が前記認証用データの第 2 の位置に登録されている時、前記アクセスが正当なアクセスであるとして認証することを特徴とするものであり、又、第 10 態様は、前記認証データは、前記第 2 のユーザの携帯電話機からのアクセスを許可するアクセス許可期間をデータとして備え、前記認証手段は、前記第 2 のユーザの携帯電話機からのアクセスが前記アクセス許可期間内のアクセスの場合のみ、正当なアクセスとして認証するように構成したことを特徴とするものであり、又、第 11 態様は、前記認証用データは、前記第 1 のユーザが公開したい複数の個人情報と、前記第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号に対応して、前記複数の個人情報の内の公開したい個人情報を特定するための識別手段とを含み、前記第 1 のユーザ毎に異なる個人情報を公開するように構成したことを特徴とするものであり、又、第 12 態様は、前記公開される個人情報が、前記第 1 のユーザのメールアドレスであることを特徴とするものである。

【0010】又、本発明に係わる情報の公開方法の第 1 態様は、個人情報を公開する側の第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機と、前記第 1 のユーザの公開情報を受け取る側の第 2 のユーザの携帯電話機であって、当該携帯電話機の電話番号を相手側に通知する機能を有する第 2 のユーザの携帯電話機と、前記第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号と前記第 2 のユーザの携帯電話

機の電話番号と前記第 1 のユーザが公開したい個人情報とを少なくとも含むデータベースとからなる個人情報公開システムの情報の公開方法であって、前記第 2 のユーザの携帯電話機が、当該個人情報公開システムへアクセスした時、前記第 2 のユーザの携帯電話機から受信した前記第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号と前記第 2 のユーザの携帯電話機の電話番号と切り出す第 1 の工程と、切り出された前記第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号が前記データベースの第 1 の位置に登録され、且つ、前記第 2 のユーザの携帯電話機の電話番号が前記データベースの第 2 の位置に登録されている時、当該個人情報公開システムへのアクセスが正当なアクセスであるとして認証する第 2 の工程と、前記第 2 の工程で、当該個人情報公開システムへのアクセスが、許可された前記第 2 のユーザの携帯電話機からのものであることを認証した時、前記個人情報を前記第 2 のユーザの携帯電話機に通知する第 3 の工程と、を含むことを特徴とするものであり、又、第 2 態様は、前記データベースは、前記第 2 のユーザの携帯電話機からのアクセスを許可するアクセス許可期間をデータとして備え、前記第 2 の工程では、前記第 2 のユーザの携帯電話機からのアクセスが前記アクセス許可期間内のアクセスの場合のみ、正当なアクセスとして認証することを特徴とするものであり、又、第 3 態様は、前記データベースには、前記第 1 のユーザが公開したい複数の個人情報と、前記第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号に対応して、前記複数の個人情報の内の公開したい個人情報を特定するための識別手段とを格納し、前記第 3 の工程では、第 1 のユーザ毎に異なる個人情報を公開するように構成したことを特徴とするものであり、又、第 4 態様は、個人情報を公開する側の第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機と、前記第 1 のユーザの個人情報を受け取る側の第 2 のユーザの携帯電話機であって、当該携帯電話機の電話番号を相手側に通知する機能を有する第 2 のユーザの携帯電話機と、前記第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機のメモリ装置内に格納される前記第 1 のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号と前記第 2 のユーザの携帯電話機の電話番号と切り出す第 1 の工程と、前記第 2 のユーザの携帯電話機の電話番号が前記認証用データ内に登録されている時、前記第 2 のユーザの携帯電話機からのアクセスが正当なアクセスであるとして認証する第 2 の工程と、前記第 2 の工程で、前記アクセスが、正当なアクセスであることを認証した時、前記個人情報を前記第 2 のユーザの携帯電話機に通知する第 3 の工程と、を含む

ことを特徴とするものであり、又、第5態様は、前記認証データは、前記第2のユーザの携帯電話機からのアクセスを許可するアクセス許可期間をデータとして備え、前記第2の工程では、前記第2のユーザの携帯電話機からのアクセスが前記アクセス許可期間内のアクセスの場合のみ、正当なアクセスとして認証することを特徴とするものであり、又、第6態様は、前記認証用データは、前記第1のユーザが公開したい複数の個人情報と、前記第1のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号に対応して、前記複数の個人情報の内の公開したい個人情報を特定するための識別手段とを含み、前記第3の工程では、第1のユーザ毎に異なる個人情報を公開するように構成したことを特徴とするものであり、又、第7態様は、前記公開される個人情報が、前記第1のユーザのメールアドレスであることを特徴とするものである。

#### 【0011】

【発明の実施の形態】本発明は、携帯電話の自局電話番号通知機能を利用して、認証を行うことを可能にした個人情報公開システムであり、特に、メールアドレスなどの個人的な情報を他人に知らせる際に、携帯電話機の電話番号を利用して相手を認証し、個人情報を送るようにしたものである。

【0012】図4は、本発明の実施の形態を示す図、図5は、その動作例を示すフローチャートである。

【0013】個人情報を他人に知らせることを目的としているユーザ(A)301は、インターネットサービスプロバイダ(ISP)などインターネット上に外部からアクセスが可能なサーバを構築している個人情報公開システムに加入する。そして、ISPの個人情報データベース306にアクセスする為に必要なユーザID、パスワード及びISPのアクセスポイントの電話番号を取得する。

【0014】ユーザ(A)301は、前述したISPが管理するサーバ上の個人情報データベース306にID、パスワードを利用してログインし、個人情報303として、自分の携帯電話番号、公開したい情報であるメールアドレスを登録する。

【0015】ユーザ(A)301は、情報公開を許可するユーザ(B)302の携帯電話番号を事前に取得し、ISPの個人情報データベース306に、ユーザ(B)302の携帯電話番号を個人情報公開許可携帯電話番号304として登録する。同時に、個人情報としてのメールアドレスを公開する一定の期間を登録する。

【0016】ユーザ(A)301は、情報公開を許可する(B)302に個人情報を公開するために、以下の事項の通知を行う。

(1) ユーザ(A)301が、個人情報データベース306に登録したユーザ(B)302の携帯電話の電話番号

(2) ISPのアクセスポイントの電話番号

(3) ユーザ(A)301の携帯電話機の電話番号

(4) ユーザ(B)302が個人情報データベース306にアクセスできる期間

(4) 上記(2)と(3)の組み合わせにより、個人情報データベース306にアクセスする方法

上記に従い、ユーザ(B)302は、先ず、ISPなどがサービスを行っている個人情報公開システムへアクセスするアクセスポイントの電話番号と、ユーザ(A)301の携帯電話番号を組み合わせる方式により、ユーザ(A)301が指定した期間内に、所定のISPのアクセスポイントへアクセスし、個人情報データベース306の認証手段305にて認証を受ける。

【0017】この認証が正しく行われた場合、ISPの個人情報データベース306からユーザ(A)301の個人情報303が、ユーザ(B)302に送信される。データベース306から送信される情報は、WEB、メール、電話の3種類から選択することができる。

#### 【0018】

【実施例】以下に、本発明に係わる個人情報公開システムとその公開方法の具体例を図面を参照しながら詳細に説明する。

【0019】(第1の具体例)図1～3は、本発明の第1の具体例を示す図であり、これらの図には、個人情報公開システムであって、個人情報を公開する側の第1のユーザの携帯電話機又は電話機103と、前記第1のユーザの個人情報を受け取る側の第2のユーザの携帯電話機であって、当該携帯電話機の電話番号を相手側に通知する機能を有する第2のユーザの携帯電話機104と、前記第1のユーザの携帯電話機又は電話機103の電話番号と、前記第2のユーザの携帯電話機104の電話番号と、前記第1のユーザが公開したい個人情報204とを少なくとも含むデータベース106と、前記第2のユーザが前記第1のユーザの個人情報を取得するために、当該個人情報公開システムにアクセスした時、このアクセスが、正当なアクセスであるか否かを認証する認証手段107と、前記データベース106及び認証手段107を制御するサーバ108と、前記アクセスが、許可された前記第2のユーザの携帯電話機104からのものであることを前記認証手段107が認証した時、前記個人情報204を前記第2のユーザの携帯電話機104に通知する公開情報の通知手段109と、を少なくとも含むことを特徴とする個人情報公開システムが示されている。

【0020】以下に、第1の具体例を更に詳細に説明する。

【0021】図1は、本発明の個人情報公開システムの基本的な構成図である。ユーザ(A)101は、個人情報を公開するためにインターネット上に外部からアクセスが可能なサーバを構築しているインターネットサービスプロバイダ(ISP)105などと契約を結んでい



る。

【0022】なお、インターネット上で外部からアクセスが可能であり、本発明で構築する機能を備えたデータベース及び認証手段を所有していれば、インターネットサービスプロバイダ（ISP）以外のサービス提供者から、ユーザ（A）101は、インターネットサービスプロバイダ（ISP）105と同様なサービスを受けることが出来る。

【0023】ユーザ（A）101は、個人情報データベース106への情報の登録を行う為に情報端末103を所有している。ユーザ（A）101の所有する情報端末103は、公衆網を通じてインターネットに接続が可能であり、メールの送受信、WWWの閲覧を行うことが可能なパーソナルコンピュータもしくは携帯電話機又は電話機とする。

【0024】ユーザ（B）102の所有する情報端末104は、公衆網を通じてインターネットに接続可能であり、メールの送受信、WWWの閲覧、音声通話を行うことができるものとする。この端末104は、個人情報データベース106にアクセスする際に、携帯電話の自局電話番号通知機能を利用する為、パーソナルコンピュータではなく、携帯電話であることが必須となる。

【0025】ISP105は、個人情報を公開するためのサービスとして、個人情報公開システムを構築している。この個人情報公開システムは、個人情報を安全に公開することを目的としており、個人情報データベース106及び認証システム107を備えている。

【0026】この個人情報データベース106は、ISP105の中に構築されており、図2に示すデータベースから構成されている。個人情報データベース106の内容は、ユーザ（A）101のID201、パスワード202、携帯電話番号203、メールアドレス204、個人情報の公開を許可するユーザ（B）102の携帯電話番号205、ユーザ（B）102からのアクセスを許可する期間206から構成される。

【0027】ユーザID201は、個人情報公開システムに契約しているユーザ（A）101が登録した際のIDである。ユーザID201は、各々のユーザ毎に異なるものが割り当てられ、ユーザ（A）101が、個人情報データベース106に個人情報を登録する時、及び、個人情報データベース106のデータを変更する時に、ユーザ（A）101が、この個人情報公開システムにログインするためにも利用される。

【0028】パスワード202は、前述したユーザID201と共に個人情報データベース106にログインする際に利用されるものである。具体的には、パスワード202は、ユーザ（A）が自分のメールアドレス204を個人情報データベース106に登録する際、及びユーザ（B）102の携帯電話番号を個人情報公開許可携帯電話番号205として、個人情報データベース106に

追加する際に必要である。

【0029】携帯電話番号203は、個人情報データベース106に登録したユーザ（A）101の携帯電話番号とする。なお、この携帯電話番号203は、ユーザ（B）102が、ユーザ（A）101のメールアドレス204を取得する際の認証に利用される。

【0030】具体的には、本発明のシステムにアクセスする際、ISPのアクセスポイントの電話番号とユーザ（A）101の携帯電話番号203とを組み合わせた番号をユーザ（B）102が入力する。認証手段107は、このユーザ（A）101の携帯電話番号を識別することで、個人情報データベース106上のユーザ（A）101のデータを識別する。従って、ユーザ（A）101の携帯電話番号203も、個人情報データベースシステムのサービス開始前に登録する必要がある。

【0031】メールアドレス204は、個人情報データベース106に登録したユーザ（A）101の公開するメールアドレスである。このメールアドレス204も、個人情報データベースシステムのサービス開始前に登録される必要がある。サービス開始後、アクセスを許可する一定期間206内に、個人情報の公開を許可する携帯電話番号205の携帯電話機からの認証要求があった場合のみ、正しい認証が行われ、ユーザ（B）102に対して、ユーザ（A）101のメールアドレス204の公開が行われる。

【0032】ユーザ（A）101の個人情報データベース106におけるメールアドレスの登録数は少なくとも1種類以上であり、契約サービスのグレードによって種類を増減することができる。例えば、契約サービスのグレードには、ユーザ（A）101が登録するメールアドレス204の数、個人情報公開許可携帯電話番号205の数が共に2種類以下の場合シルバー会員、共に5種類以下の時はゴールド会員、数の上限がない場合はプラチナ会員のようにする。

【0033】個人情報公開許可携帯電話番号205は、ユーザ（A）101が個人情報としてメールアドレス204を公開しても良いとして許可した携帯電話番号205である。従って、個人情報データベース106に、この個人情報公開許可携帯電話番号205からのアクセスが行われた場合で、且つ、アクセスを許可する一定期間206内であった場合のみ正しい認証が行われ、ユーザ（A）101のメールアドレス204の公開が行われる。この個人情報公開許可携帯電話番号205は、ユーザ（A）101の所有するユーザID201について少なくとも1以上の個人情報公開許可携帯電話番号205を登録することができ、上記したように、契約サービスのグレードによって種類を増減することができる。

【0034】アクセスを許可する期間206は、ユーザ（A）101が登録した個人情報公開許可携帯電話番号205に付属する情報である。アクセスを許可する期間

10

20

30

40

50

206とは、個人情報公開許可携帯電話番号205が設定された場合、個人情報公開許可携帯電話番号205で示された携帯電話番号からのアクセスが可能な期間を示している。従って、ユーザ(A)101がアクセスを許可した期間206以外に、ユーザ(B)102が個人情報データベース106にアクセスすることはできない。

【0035】なお、ユーザ(A)101の個人情報を個人情報データベース106に登録する方法は三種類ある。どの登録方法においても、個人情報公開システムにユーザID201、パスワード202を使用してログインする必要がある。

【0036】第一の方法は、WEBで行う登録である。この場合はISPの個人情報登録ホームページから個人情報の入力を行う。第二の方法はメールで登録する方法である。メールで登録する場合は、ISPの個人情報登録センター宛てに個人情報を記入したメールを送る。第三の方法は、音声で登録する方法であり、この場合はISPの個人情報登録コールセンターに電話連絡を行い、個人情報を伝える。登録された個人情報データベース106は、個人情報公開システムと契約しているユーザ(A)101は常に閲覧することが可能であり、個人情報公開システムホームページからアクセスし、情報を追加及び変更することが可能である。なお、個人情報データベース106への登録は、サービス開始前だけでなく、サービス中に常に登録及び変更を行うことができる。ユーザ(A)101が、メールアドレス204を新規に公開したいと考えた際に、自由に個人情報公開許可携帯電話番号205を登録し、アクセスを許可する期間206の設定を行うことができ、更に、自らのメールアドレス204の変更・追加も可能である。

【0037】本発明の個人情報公開システムへのアクセスの認証は、ユーザ(B)102の携帯電話機104の自局電話番号通知機能及びアクセスを許可する期間を用いて認証が行われる。認証の手順は以下の通りである。

【0038】ユーザ(B)102が、ISP105の個人情報データベース106にアクセスする為にISPのアクセスポイント用電話番号とユーザ(A)101の携帯電話番号203を組み合わせて電話をかけることで認証の第1段階を行う。

【0039】ISP105のアクセスポイント用電話番号は、認証のための窓口となる電話番号で、ISPの個人情報データベース106と連携が行われている。

【0040】アクセスの認証の際、ユーザ(A)101の携帯電話番号203を認識することで、ユーザ(A)101の個人情報データベース106にアクセスすることができる。この際、ユーザ(B)102の所有している携帯電話機は、自局電話番号通知機能をONにして、自局電話番号を個人情報データベース106に知らせなければならない。

【0041】従って、認証手段107は、ユーザ(B)

102の携帯電話番号がユーザ(A)101の登録した個人情報公開許可携帯電話番号205内に含まれるデータであるか否かを識別することができる。ここで、認証手段107が、個人情報公開許可携帯電話番号205でないと判断した場合は、認証不可とする。又、公開許可されている携帯電話番号であると認証した場合は、更に、当該アクセスが、アクセスを許可する期間206内のものであるか否かについて照合する。この場合、アクセスを許可する期間206以外である場合は、認証不可とする。アクセスを許可する期間206内であった場合に、初めて、個人情報データベース106へのアクセスが可能となる。

【0042】ユーザ(B)102が個人情報データベース106へのアクセスが可能となった後、ユーザ(B)102の指定した方法でメールアドレス204を公開する。

【0043】認証が終了すると、ユーザ(B)102は、ユーザ(B)102が所有する携帯電話のボタンを押して、メールアドレス204を受け取る方法を選択する。選択肢は音声、WEB、メール3種類がある。

【0044】音声を選択した場合は携帯電話の音声通話機能を利用して、自動音声によってユーザ(A)101のメールアドレス204が通知される。そして、ユーザ(B)102がメールアドレス204を確認後、了承した場合、携帯電話機104のボタンを押して処理を終了する。ユーザ(B)102が、メールアドレス204を了承しなかった場合、再び、携帯電話機のボタンを押して、再度、メールアドレス204の確認を行う。

【0045】WEBを利用する場合は、携帯電話のインターネット接続機能を利用してISPの個人情報公開システムのサイトにアクセスする。この場合、ユーザ(A)101のメールアドレス204を表示する為のURLが、ユーザ(B)102の携帯電話104上に表示されるから、ユーザ(B)102が、そのURLをクリックすると、ユーザ(B)102の携帯電話104の画面上にユーザ(A)101のメールアドレス204が表示される。ユーザ(B)102は、メールアドレス204を確認後、ユーザ(B)102がメールアドレス204を表示している携帯電話機104のメモリ内にメールアドレス204を登録することができる。ユーザ(B)102が、メールアドレス204を確認後、了承した場合、インターネット接続機能を終了する。ユーザ(B)102が了承をしなかった場合、URLを再読み込みし、再び、メールアドレス204を取得する。

【0046】又、メールを選択した場合は、携帯電話のインターネット接続機能を利用してISPの個人情報公開システムのサイトにアクセスする。ユーザ(B)102がアクセスに使用している携帯電話機104から、ユーザ(A)101のメールアドレス204を受信するためのユーザ(B)102のメールアドレスを入力する

と、やがて、ユーザ(A)101のメールアドレス204が記入されたメールをユーザ(B)102は、指定したユーザ(B)102の所有するメールアドレスで受信する。ユーザ(B)102が受信したユーザ(A)101のメールアドレスを了承した場合、処理は完了する。ユーザユーザ(B)102が了承しなかった場合、再びISPの個人情報公開システムサイトから、ユーザ(A)101のメールアドレスを再送信するための処理を行う。

【0047】次に、本発明の動作をの図3のフローチャートに基づき説明する。

【0048】事前準備として、ユーザ(A)501は、個人情報を公開するためにインターネットサービスプロバイダ(ISP)などインターネット上に外部からアクセスが可能なサーバを構築している個人情報公開システムと契約を行う(ステップ504)。ユーザ(A)501の契約内容としては、大きく分けて、ISPの個人情報データベース502に、ユーザ(A)501の個人情報及び公開のための認証情報を蓄積すること、及び、公開を許可した携帯電話番号の持ち主であるユーザ(B)503にユーザ(A)501の個人情報を安全に公開することである。

【0049】初めに、ISPと契約済みの個人情報公開ユーザ(A)501は、個人情報として、ユーザ(A)501のメールアドレス204、及び、携帯電話番号203を個人情報データベース502に登録する(ステップ505)。この場合、ユーザ(A)501が、個人情報を個人情報データベース502に登録する際に、個人情報データベース502にログインする必要がある。ログインは、契約時に登録したユーザID201とパスワード202とを利用する。登録方法としては以下に示すように3種類ある。

【0050】WEBで登録する場合は、ISPの個人情報登録ホームページから個人情報の入力を行う。メールで登録する場合は、ISPの個人情報登録センター宛てに個人情報を記入したメールを送る。また、音声で登録する場合は、ISPの個人情報登録コールセンターに電話連絡し、個人情報を伝える。このようにして、個人情報データベース502にユーザ(A)501の個人情報を登録する。

【0051】個人情報の公開を許可するユーザ(B)503の個人情報公開許可携帯電話番号205を登録する時、同時に、ユーザ(B)503にアクセスを許可する期間206を登録する(ステップ506)。具体的には、公開が許可されたユーザ(B)503の携帯電話番号205(090-1111-1111)からのアクセスは、2001年9月3日の20時00分~20時30分と定める。このように、個人情報の公開を許可する相手に応じて、個人情報公開許可携帯電話番号205とアクセスを許可する期間206の登録を行う。なお、個人

情報データベース502への登録には、サービス開始前だけでなく、サービス中に常に登録・変更を行うことができる。ユーザ(A)501が、メールアドレス204を新規に公開したいと考えた時に、自由に個人情報データベース502にアクセスし、登録データを更新することができる。

【0052】個人情報データベース502へのユーザ(A)501の個人情報の登録が終わった後、個人情報データベース502へのアクセス手順を、公開許可されたユーザ(B)503に通知する(ステップ507)。

【0053】ユーザ(B)503は、ISPの個人情報データベース502にアクセスする為にISPのアクセスポイント用電話番号とユーザ(A)501の携帯電話番号205とを組み合わせることで、個人情報データベース502にアクセスを行う。具体的な電話番号の組み合わせとしては、ISPのアクセスポイント用電話番号が、045-000-0000とし、ユーザ(A)501の携帯電話番号203が090-0000-0000とした場合、ユーザ(B)503の携帯電話に、045-000-0000#090-0000-0000を入力することをユーザ(B)503に通知する。

【0054】なお、ユーザ(B)503が所有する携帯電話が複数ある場合、個人情報データベース502に、個人情報公開許可携帯電話番号205として登録済み以外の電話でアクセスすると認証不可となってしまうので、ユーザ(B)503は、ユーザ(B)503の所有する必要な携帯電話番号をユーザ(A)501に通知する必要がある。このようにして、ユーザ(B)503は、個人情報データベース502へのアクセス手段の取得を行う。

【0055】公開許可されたユーザ(B)503は、ユーザ(A)501から通知された個人情報データベース502へのアクセス手順に従い、個人情報データベース502へのアクセスを行う(ステップ508)。ユーザ(B)503が、個人情報データベース502にアクセスする時は、ユーザ(A)501から通知された個人情報公開許可携帯電話番号205に登録されている携帯電話機からアクセスを行う。アクセス方法としては、ユーザ(A)501によって指定されたユーザ(B)503のアクセスを許可する期間206内にISPのアクセスポイントの電話番号とユーザ(A)501の携帯電話番号203とを組み合わせたものを使用してアクセスする。具体例は前述したとおりである。

【0056】個人情報データベース502では、以下の手順に従って認証を行う(ステップ509)。

【0057】ユーザ(B)503がISPのアクセスポイントに接続後、個人情報データベース502は、ユーザ(B)503から入力されたISPのアクセスポイントの電話番号とユーザ(A)501の携帯電話番号20

3との組み合わせから、ユーザ(A)501の携帯電話番号203を切り分ける。

【0058】個人情報データベース502の中に存在するユーザ(A)501の個人情報を識別する為に、ユーザ(B)503が入力したユーザ(A)501の携帯電話番号203を用いる。即ち、個人情報データベース502では、ユーザ(B)503によって入力されたユーザ(A)501の携帯電話番号203を個人情報データベース502内で検索し、ユーザ(A)501の携帯電話番号203に対応する個人情報公開許可携帯電話番号205を抽出する。

【0059】ユーザ(B)503は、個人情報データベース502にアクセスする時に、自局電話番号通知機能を利用して、予め、ユーザ(B)503自身の携帯電話番号の通知を行っているから、認証の際、個人情報データベース502に登録された個人情報公開許可携帯電話番号205とユーザ(B)503の携帯電話番号が一致しているか否かを調べる。そして、一致しない場合、ユーザ(B)503の携帯電話番号に認証失敗の通知を、自動音声を用いて行う(ステップ510)。また、一致した場合、このアクセスが、個人情報公開許可携帯電話番号205に対して設定されている期間206内であるかを調べ、アクセスを許可する期間206以外の場合は、ユーザ(B)503の携帯電話機に認証失敗の通知を自動音声を用いて行う。

【0060】一方、ユーザ(B)503のアクセスが、期間206内のアクセスである場合、認証が完了し、ユーザ(A)501の個人情報の公開が許可される(ステップ511)。認証が完了した時、ユーザ(A)501の個人情報であるメールアドレス204を公開する方法として、本発明では、以下の3通りの方法を用意している(ステップ512)。

【0061】即ち、ユーザ(B)503は、認証が終了した後、ユーザ(B)503の携帯電話機のボタンを押して、メールアドレス204を受け取る方法として、音声、WEB、メールのいずれかを選択する。例えば、認証終了後に、「1」をプッシュすると音声、「2」をプッシュするとWEB、「3」をプッシュするとメールでメールアドレスを取得することができます。」という音声が出る。音声を選択した場合には、携帯電話機の音声通話機能を利用して、自動音声によりユーザ

(A)501のメールアドレス204が通知される(ステップ513)。そして、ユーザ(B)503がメールアドレス204を確認し、了承した場合、ユーザ(B)503の携帯電話機のボタンを押して処理を終了する(ステップ514)。ユーザ(B)503が、メールアドレス204を了承しなかった場合、ユーザ(B)503の携帯電話機のボタンを操作して、再度メールアドレス204の確認を行う。

【0062】又、WEBを利用した場合は、携帯電話機

のインターネット接続機能を利用してISPの個人情報公開システムのサイトにアクセスする(ステップ513)。その後、ユーザ(A)501のメールアドレス204を表示する為のURLが、ユーザ(B)503の携帯電話機上に表示される。ユーザ(B)503は、ユーザ(A)501のメールアドレス204を表示する為のURLをクリックし、ユーザ(B)503の携帯電話機の画面上に、ユーザ(A)501のメールアドレス204を表示させる。ユーザ(B)503は、メールアドレス204を確認後、メールアドレス204を表示している携帯電話機のメモリに、受信したメールアドレス204を登録することができる。ユーザ(B)503が、メールアドレス204を確認し、了承した場合、インターネット接続機能を終了する。ユーザ(B)503が了承しなかった場合、ユーザ(B)503の携帯電話機でURLを再読み込みし、再びメールアドレス204を取得する。

【0063】又、メールを選択した場合は、携帯電話のインターネット接続機能を利用してISPの個人情報公開システムのサイトにアクセスし(ステップ513)、ユーザ(B)503のメールアドレスを入力する。その後、ユーザ(A)501のメールアドレス204が記入されたメールを受信する。ユーザ(B)503が受信したユーザ(A)501のメールアドレス204を了承した場合、処理は完了する。ユーザ(B)503が了承しなかった場合、再びISPの個人情報公開システムサイトからユーザ(A)501のメールアドレスを再送信するための処理を行う。

【0064】以上のようにして、ユーザ(B)503は、個人情報データベース502からユーザ(A)501の個人情報の取得を行う(ステップ514)。

【0065】本発明の個人情報公開システムにより、情報公開を認めた相手が決められた期間内にアクセスした場合に限って、予め登録された個人情報を安全に公開することができる。

【0066】なお、上記説明では、ユーザ(A)の情報端末として、携帯電話機を用いたが、インターネットに接続可能であれば、電話機を用いた構成でも、本発明の目的を達成できる。

【0067】(第2の具体例)第1具体例では、認証が終了した後、携帯電話機のボタンを操作して、個人情報を受け取る方法として、音声、WEB、メールのいずれかを選択するように構成している。

【0068】メールを選択した場合、ユーザ(A)のメールアドレスを送る際、携帯電話の自局電話番号通知からメールアドレスを自動的に生成し、メール送信を行うように構成することも可能である。

【0069】具体的には、例えば、09011111111@docom.o.ne.jpのようにメールアドレスを生成する。

【0070】手順としては、プッシュボタンでメールを

選択した後、オプション設定として、メールアドレスが携帯電話番号を利用したものであることに同意し、その後キャリアを選択する。これらの作業は、全て自動音声で質問され、プッシュボタンを操作することで選択を行う。例えば、キャリアの選択の場合、「docomoの場合は「1」を、J-PHONEの場合は、「2」をプッシュしてください」のように行われる。

【0071】（第3の具体例）ユーザ（A）が個人情報の再登録をデータベースに行った後、再びユーザ（B）に情報公開を行う際に、ユーザ（B）への個人情報通知方法を簡略化するために、一度目の個人情報へのアクセスログを参照して、通知を行うようにすることも可能である。手順としては、通常、認証完了後、音声、WEB、メールの3種類の中から個人情報通知の方法を選択するが、第3の具体例では、サーバのアクセスログによって前回音声によって通知が行われていた場合は、音声でのメールアドレスの通知を行う。この場合、通信料を節約することができるという効果がある。

【0072】（第4の具体例）第1の具体例では、ユーザ（A）は、個人情報を公開するために、インターネットサービスプロバイダ（ISP）などインターネット上に外部からアクセス可能なサーバを構築している個人情報公開システムと契約を行う必要があった。これに対して、第4の具体例では、ユーザ（A）の携帯電話機のメモリ上に個人情報データベースと同等の情報を格納し、更に認証機能を持たせることで、第1の具体例と同様なシステムを構築することが出来る。

【0073】即ち、個人情報データベースに当たる情報蓄積部分として、携帯電話機のメモリ上に自分の公開するメールアドレス、個人情報の公開を許可する携帯電話番号、アクセス許可する期間の登録を行う。

【0074】ユーザ（A）の個人情報データベースをユーザ（B）からアクセスする際、本具体例では、ユーザ（A）の携帯電話番号だけ入力すれば、アクセス可能となる。そして、個人情報の公開を許可されたユーザ（B）は、アクセスを許可された所定の期間内に、自局番号通知機能を利用してアクセスし、認証を行う。ユーザ（A）の携帯電話機での認証は、自局電話番号通知機能を利用して、公開を許可されたユーザ（B）の携帯電話番号と予め登録した個人情報公開許可携帯電話番号が一致するかを確認し、正しい携帯電話番号であった場合、当該アクセスが、許可された所定の期間内のアクセスであるか否かを調べる。こうして、認証が終了すると、個人情報の取得手法の選択が可能になる。なお、本具体例の場合、音声、WEBによる通知は行われず、メールによる個人情報の通知のみを行う。

【0075】認証が成功した段階で、公開を許可されたユーザ（B）は、個人情報の送付先となるメールアドレスの登録を行い、その登録されたユーザ（B）のメールアドレスに、ユーザ（A）のメールアドレスが自動的に

通知される。上記の仕組みによって携帯端末上だけで個人情報の公開を行う。

【0076】このように、第4の具体例の個人情報公開システムでは、個人情報を公開する側の第1のユーザの携帯電話機又は電話機と、前記第1のユーザの個人情報を受け取る側の第2のユーザの携帯電話機であって、当該携帯電話機の電話番号を相手側に通知する機能を有する第2のユーザの携帯電話機と、前記第1のユーザの携帯電話機又は電話機のメモリ装置内に格納される前記第1のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号と、前記第2のユーザの携帯電話機の電話番号と、前記第1のユーザが公開したい個人情報とを少なくとも含む認証用データと、前記第2のユーザが前記第1のユーザの個人情報を取得するために、前記第1のユーザの携帯電話機又は電話機の前記認証用データをアクセスする際、当該アクセスが、正当なアクセスであるか否かを認証する認証手段と、前記認証用データのアクセスが、許可された前記第2のユーザの携帯電話機からのものであることを前記認証手段が認証した時、前記個人情報を前記第2のユーザの携帯電話機に通知する公開情報の通知手段と、を少なくとも含むことを特徴とするものである。

【0077】（第5の具体例）図6は、本発明の第5の具体例を説明するための図である。

【0078】上記第1～第4の具体例では、第1のユーザ（A）の公開したい個人情報は、メールアドレス204のみであった。この第5の具体例では、第2のユーザ（B）毎に異なった個人情報を提供するように構成した例である。即ち、この具体例では、メールアドレス204に加え、緊急連絡先を公開するように構成している。このため、データベース106Aには、メールアドレス204の他に緊急連絡先204Aを格納し、更に、第2のユーザ（B）毎にどの個人情報を公開するかを識別するための識別符号207が、第2のユーザ（B）毎に設定されている。

【0079】従って、認証が終了した後、通知手段109は、識別符号207に基づき、所定の個人情報が通知される。この例では、携帯電話番号090-1111-1111の第2のユーザ（B）には、メールアドレスを公開し、携帯電話番号090-2222-2222の第2のユーザ（B）には、緊急連絡先を公開するようになっている。

【0080】勿論、第5の具体例を前記した第4の具体例に適用しても良い。このように、この具体例では、データベース106Aには、第1のユーザ（A）が公開したい複数の個人情報204、204Aと、前記第1のユーザ（A）の携帯電話機又は電話機の電話番号に対応して、前記複数の個人情報204、204Aの内の公開したい個人情報を特定するための識別手段207とを格納し、前記第1のユーザ毎に異なる個人情報を公開するように構成したことを特徴とするものである。データベ

ス106Aには、前記第1のユーザが公開したい複数の個人情報204、204Aと、前記第1のユーザの携帯電話機又は電話機の電話番号に対応して、前記複数の個人情報の内の公開したい個人情報を特定するための識別手段207を格納するように構成し、前記第1のユーザ毎に異なる個人情報を公開するように構成したものである。

#### 【0081】

【発明の効果】本発明に係わる個人情報公開システムとその公開方法は、上述のように構成したので、以下のよ

【0082】本発明では、メールアドレスを公開する際に、ISPの電話番号と情報を公開する人の携帯電話番号を組み合わせることで、公開する個人情報の取得を可能にしている。従って、アルファベットを打ち込むことなく、数字の入力のみでメールアドレスの取得が可能となり、入力間違いが起りやすいという欠点を解決することができた。また、数値とアルファベットの文字入力の際のモード変換もなく、一つのキーに複数の数値が割り当てられているわけではないので、入力手順が簡易化される。

【0083】又、本発明では、個人情報にアクセスする際にパスワードを用いることなく、予め公開を許可する携帯電話番号を登録しておくことで認証を行う。即ち、予め情報の公開を許可した携帯電話番号から認証の問い合わせがあった場合、携帯電話の自局電話番号通知機能によって認証を行う。従って、公開を許可したものの者以外からのアクセスが行われることがなくなる。

【0084】更に、本発明では、パスワードの変更を行\*

【図2】

201 ユーザID	202 パスワード	203 携帯電話番号	204 メールアドレス	205 個人情報公開許可携帯電話番号	206 アクセスを許可する一定期間
0909aaa	*****	090-0000-0000	aaa@aaa.net	090-1111-1111 090-2222-2222	01/9/3 20:00~20:30 01/9/3 20:15~20:30
0808bbb	*****	090-0001-0001	bbb@bbb.net	090-9999-9999 090-8888-8888	01/9/5 18:30~19:00 01/9/7 22:20~22:30
				090-7777-7777	01/9/7 22:15~22:20

\*うことなくアクセスを制御することが可能である。悪意のユーザによって携帯電話を取得され、個人情報にアクセスされるような場合においても、アクセスを許可する期間を予め定めておくことで、所定の期間以外のアクセスを拒否することができる。従って、アクセスを許可する期間を短くしておけば、セキュリティ強度を高めることができる。

【0085】このようにして、従来の課題を全て解決することができ、安全なシステムの構築を可能にした。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係わる個人情報公開システムの構成を示すブロック図である。

【図2】個人情報データベースの構成を示す図である。

【図3】本発明の第1の具体例のフローチャートである。

【図4】本発明の実施の形態を示すである。

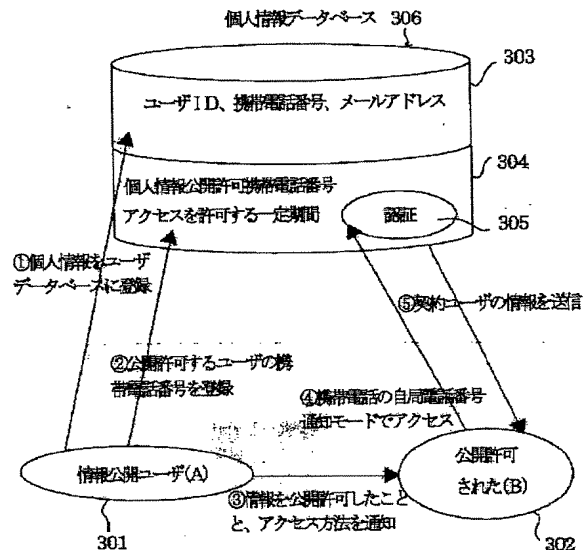
【図5】本発明の動作を示すフローチャートである。

【図6】本発明の第5の具体例に用いるデータベースの図である。

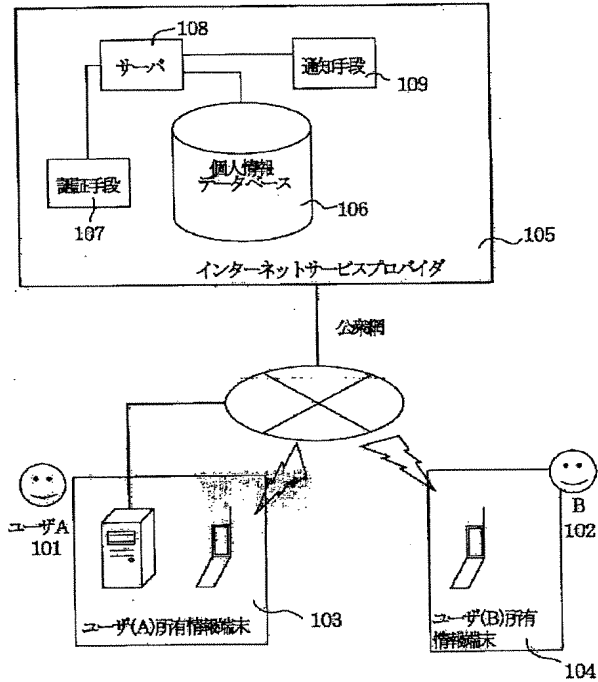
#### 【符号の説明】

- 101 ユーザ(A)
- 103 ユーザ(A)の携帯電話機
- 102 ユーザ(B)
- 104 ユーザ(B)の携帯電話機
- 106 個人情報データベース
- 107 認証手段
- 108 サーバ
- 109 通知手段

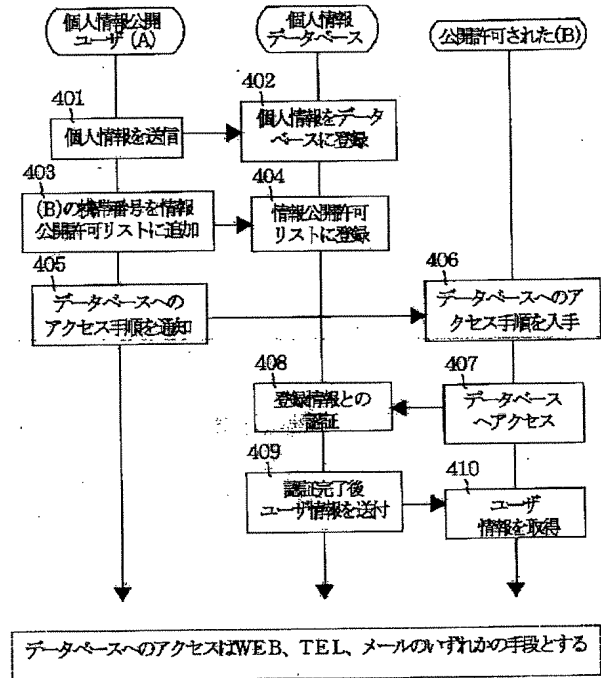
【図3】



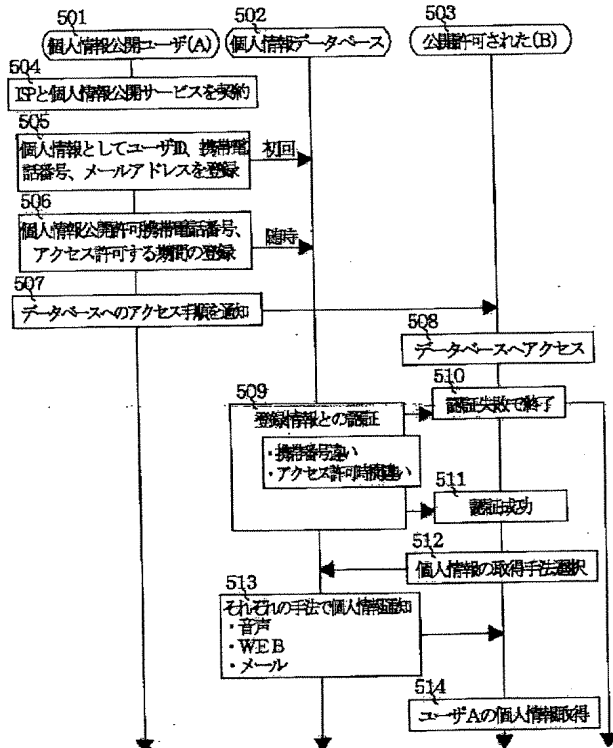
【図1】



【図4】



【図5】



【図6】

ユーザID	パスワード	携帯電話番号	メールアドレス (1)	緊急連絡先 (2)	公開対象	個人情報公開許可 希望電話番号	アクセスを許可する 一定期間
0906aaa	*****	090-0000-0000	0906aaa.net	09-000-0000	1	090-1111-1111	01/9/3 20:00~20:30
					2	090-2222-2222	01/9/3 20:15~20:30
					1 2	090-9999-9999	01/9/5 18:30~19:00
					1	090-8888-8888	01/9/7 22:20~22:30
					1	090-7777-7777	01/9/7 22:15~22:20

フロントページの続き

(51)Int. Cl.<sup>7</sup>

識別記号

F I

テマコード(参考)

H O 4 M 3/493

H O 4 M 3/493

H O 4 Q 7/38

H O 4 B 7/26

1 0 9 M

1 0 9 S

F ターム(参考) 5K015 AB01 AE01

5K024 CC11 FF01 GG05 GG07 GG08

5K036 AA07 BB01 DD01 DD11 DD25

EE13 JJ02 JJ04 JJ12

5K067 AA34 BB04 DD15 DD17 EE02

EE10 EE16 EE25 HH23

5K101 KK16 LL12 NN18 NN21 PP03